

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害福祉費

事業名 全国障害者芸術・文化祭開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111 (内3485)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 34,476 千円 (前年度予算額： 11,156 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,156	0	0	0	0	0	0	0	11,156
要求額	34,476	25,214	0	0	0	0	0	0	9,262
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

障がいのある人の芸術や文化活動への社会参加を通じて、障がいに対する国民及び県民の理解と認識を深めることを目的とする「全国障害者芸術・文化祭」を令和6年度に岐阜県での開催する。

(「国民文化祭」と「全国障害者芸術・文化祭」とをあわせて、「清流の国ぎふ」文化祭2024)として開催)

(2) 事業内容

「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催に向け、更なる機運醸成を図るとともに、開閉会式、県実行委員会主催事業の準備・開催、広報活動の展開等を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国 10/10 国庫補助 [地域生活支援事業]
- ・県 10/10 上記対象外分

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	548	職員業務旅費
需用費	840	事務用品、燃料費等
役務費	204	電話代、郵送代
使用料及び賃借料	60	レンタカー代等
負担金	32,824	実行委員会負担金
合計	34,476	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ創生総合戦略」の [1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり] - [(2) 誰もが活躍できる社会] - [②障がいのある人もない人も共に生き活躍できる社会の確立]

(2) 国・他県の状況

R5(2023)年度開催：石川県
R6(2024)年度開催：岐阜県
R7(2025)年度開催：長崎県

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

全国障害者芸術・文化祭の主催者は、文化庁、開催都道府県、開催市町村及び文化団体等となる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全国障害者芸術・文化祭を開催することによって、障がい者の芸術や文化活動への社会参加を促進し、生きがいや自信を創出するとともに、障がいに対する県民の理解と認識を深めることを狙いとする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

準備事業のため指標に基づく成果の記載は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	令和2年11月の内定後、市町村連携会議を開催するとともに、市町村に対して事業の実施意向調査等を行った。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	基本構想検討会議を立ち上げ、基本構想案を策定した。また、大会の実施・運営にあたっての知見等を蓄積するため、先催県の視察・調査を行うとともに、文化団体との意見交換を実施した。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	実施計画策定のため、企画委員会、常任委員会、総会を開催した。また、文化祭の周知と大会の機運醸成のため、PRイベントを開催した。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>障がい者が文化芸術活動に参加する機会の創出及び、障がい者の作品展示や舞台芸術を多くの国民及び県民に観てもらふことにより、障がいへの理解につながる。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>令和6年度の開催に向けて、庁内関係課、県内市町村及び関係団体等と調整を行っており、障がい者の文化芸術に対する機運が高まっている。</p>
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>庁内関係課、県内市町村及び関係団体等と連携しながら事業を実施しており、効率化が図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 大会開催を広く周知するとともに、大会に向けて県民一丸となって機運醸成を図る必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 大会の成功に向けて、市町村や障がい者団体、事業所等の関係機関との連携を密にしながら、「県民総参加によるオール岐阜の文化祭」となるよう、準備を進めていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>事業名：国民文化祭開催準備事業費 所管課：文化祭総務企画課、 清流の国ぎふ文化祭推進課</p>
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	<p>平成29年度の第17回大会(奈良大会)から、国民文化祭(所管：文化庁)と一体的に開催されており、障がいの有無にかかわらず、誰もが参加できるよう、連携する必要がある。</p>